

六華の心

酒田市立第六中学校
学校だより 第15号
校長 加藤 浩昭
令和5年9月15日

六中生の学びの状況は？「全国学力学習状況調査の結果等から」

4月に実施された今年度の全国学力学習状況調査について、酒田市教育委員会より保護者配付用の分析結果が届き、本日配付させていただきました。合わせて、本校の結果の概容等についても報告させていただきます。

Q そもそも全国学力学習状況調査とは？（昨年も触れましたが…）

- ◇「義務教育の機会均等とその水準の向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること」を目的に実施されるものです。
- ◇小学校6年生と中学校3年生が対象となります。
- ◇教科の学習に関する調査（学力テスト）と生活習慣や学習に向かう姿勢を問う児童生徒質問紙（アンケート）を実施します。
- ◇教科に関する調査は例年国語と算数・数学が実施され、平成24年度から理科、令和元年度からは中学校3年生対象の英語も実施され、理科は3年に1度、英語は3年に1度程度実施されることとなっています。今年度は国語と数学に加え、英語が実施されました。

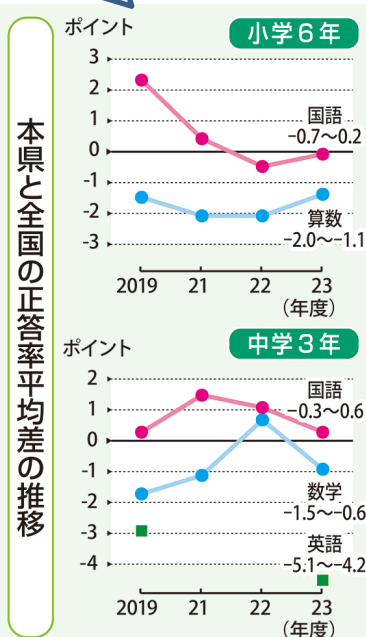
Q 山形県・六中の状況は？

- 今年度の山形県の結果を見ると、国語が全国平均と同程度か少し上回る、数学が全国平均を少し下回る。英語は全国平均に比べて大きく下回る（-4.6ポイントほど）という結果でした。
- 本校の3年生の正答率は、国語と数学が全国平均正答率を上回っています（それぞれ+1～2ポイントほど）。英語については県平均は上回ったものの全国平均を下回るという結果でした。
- 国語、数学の学習については「授業は分かる」、「取り組むべきことに取り組んでいる」、「大切だ・将来役立つ」と肯定的な回答が多い一方、「教科の学習が好き」と答える生徒が少ないという結果です。英語については苦手意識が強く、ほぼ全項目で肯定的な回答の割合が全国比・県比で低い状況でした。（今年度1回目の英語学習に係る市の調査では約6割の生徒が「好き」と回答しており、発表・表現活動への挑戦の機会を増やし、更に楽しみながら学ぶ授業を目指します）。

〈結果から見える課題〉：校内の分析会議の話し合いから

- ・記述式の問題の無答率が低く、自分の力で答えを導きだそうと粘り強く取り組むことができている。
- ・問題を素早く的確に読み取り、出題の意図を正確に捉えて、求められる表現形式で解答することに課題がある。
- ・自分の考えを、根拠を明確にして、分かりやすく表現することに課題がある。
- ・複数の資料・情報を整理、分析して既習事項や日常生活と結びつけて考えることに課題がある。
- ・友達の考えを聞いたり、友達に考えを伝えたりすることが好きと答える生徒が多いことは好ましい。話し方、書き方の工夫等、より相手に伝わる話し方、書き方を磨いていく必要がある。更に友だちとの関わりの中で考えを整理し、自分の考えをブラッシュアップさせていく力をつけたい。

令和5年8月1日の
山形新聞デジタル版より引用



※全国のは小数点第1位まで示されているが、都道府県のは小数点以下を四捨五入しているため、全国との差には幅が生じる



Q 状況調査（質問しアンケート）から見える六中生の良さと課題は？

前述したように、教科に関する調査（テスト）以外に、生活習慣や学習に向かう姿勢等に関わる75の質問アンケートが実施されています。アンケートの回答状況から見えてくる、六中生徒の良さと課題は以下の通りです。

- ◎◎将来の夢や希望を持っている。
- ◎◎人が困っているときは、進んで助けている。
- 人の役に立つ人間になりたい。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しい。
- ◎◎友だち関係に満足している。
- ◎◎普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある。
- ◎◎住んでいる地域の行事に参加している（全国比+35、県比+24極めて高い）。
- ◎◎地域をよくするために何かしてみたい。
- ◎◎授業の中でのまとめの活動、総合的な学習への取り組み、学級の仲間との考えの交流、学級での話し合いによる問題解決をしている。
- ◎◎授業の中でPC、タブレットの活用頻度。
- ◎◎部活動に関する各質問。
- ★◆自分には良いところがある。
- ★◆自分で計画を立てて勉強している。
- ★◆平日2時間以上の家庭学習をしている。
- ★◆土日3時間以上の家庭学習をしている。
- ◆授業は自分に合った教え方、教材、時間の確保になっている。
- ★◆平日、土日の読書時間。「読書が好き」等読書に関する各質問。
- ★◆外国の人と友だちになりたい。外国のことをもっと知りたい。
- ★◆国語、数学、英語の勉強が好き。

※左の印について

- ◎肯定的な回答が全国比で3%以上高い
- 肯定的な回答が県比で3%以上高い
- ★肯定的な回答が全国比で3%以上低い
- ◆肯定的な回答が県比で3%以上低い

受容的態度で他者の考えを聞き、自らの考えを伝え、対話を通して高め合える集団(心理的安全性のある集団)づくりのために、学校研究(特別活動)をこれまで以上に大切にします。

酒田市独自の「根の力」のアンケートの結果で見ても…

○「地域行事への参加、地域との繋がり」に関する項目は他校に比べて極めて高く、六中が誇れるところです。

●「家庭学習の計画性と時間」・「読書」に関する項目は、市内で共通する大きな課題です。

Q 結果を受けて六中としてどんな取り組みで学力保障を？

【学校では…】

- ◇「教えることはしっかり教える」ことで基礎基本の定着を図る。
- ◇「主体的で対話的な深い学び」・「個別最適な学び」の実現に向けた授業改善に努力する。
 - ・面白そう、やってみたくて心が動く、考える意味・価値を生徒が実感できる学習課題設定の工夫。
 - ・生徒が「課題」を選択したり、自ら「問い」を立て探究的に学ぶ授業も取り入れる。
 - ・生徒同士が関わり、高め合う場の保障（協働的な学び）。
 - ・ふりかえりを大切に、生徒が自分の学びを実感し、残った疑問についてもっと深く学びたい→教師・生徒への質問、家庭における自らの学び。
- ◇ねらいを明確にしたICT活用方法について更に研修を深め実践していく。。
- ◇諸検査から見える課題を明らかにし、その克服を意識した教科指導に努力する。

【家庭（学習）では…】

- ◇与えられてこなす家庭学習から、「自ら求めて学ぶ家庭学習へ」。
 - ・従前の一律の宿題、未提出者についての学年での居残りの廃止は継続する。
 - ・教科からの宿題・課題については、見とりと補充までしっかり行う。
 - ・家庭学習について考える場の設定、個別の学習計画づくりへの支援をより丁寧に行う。
 - ・一人一端末内の学習アプリ（TOFAS等）の有効活用についても更に検討をしていく。
- ◇ゲーム・SNS利用・動画視聴に費やす時間が多いというのは本校に限らず、山形県全体の課題です。家庭における学習時間確保を難しくする大きな要因です。その使用のあり方について、家庭でも再度話し合う機会を取ってくださいますようお願いいたします。